

デート代はいくら？誰が払う？デート頻度・連絡手段は？ | 婚外恋愛経験ありの既婚男女 350 人調査で迫るデートの実態その 1【婚外恋愛に関する実態調査 第 5 報】

「結婚後の新たな生き方」を提案する既婚者向けメディアやネットサービスの展開、システム開発を行うレゾンデートル株式会社(東京都新宿区)は、現代の夫婦関係のあり方、婚外交渉や異性関係に対する価値観の多様性を把握し、今後のサービス開発に向けた市場動向を探るため、既婚者を対象に様々なテーマで大規模なアンケート調査を実施中。今回は「婚外恋愛に関する実態調査」の第 5 報です。

<結果のポイント>

- **婚外パートナーと会う頻度は「月 1 回未満」が最多。特に女性では 5 割以上！**
 - 男性は、月 1 回未満 34.2%、月 1 回程度 27.0%、月 2~3 回が 27.0%
 - 女性は、月 1 回未満 53.0%、月 1 回程度 14.1%、月 2~3 回が 15.2%
 - 女性の方が会う頻度が少ない傾向が明らかに
- **婚外デートの 1 回のデート代(2 人分)の合計は 5,000 円~1 万円程度が最多で約 3 割**
 - 1 万円~2 万円程度が 23.0%、2 万円~3 万円程度が 16.5%と続く
 - 5,000 円未満は約 2 割、3 万円以上が約 1 割
 - 男性の世帯年収によりデート代に大きな差。年収 700 万円未満は 1 万円以内が 7 割以上
- **婚外デートの費用は「男性がほぼ支払う」が 5 割弱。割り勘は 2 割に満たない**
 - 「男性がほぼ支払う」は 44.3%、「男性が多めに支払う」が 23.7%、「割り勘」は 17.1%
 - 男性の世帯年収により傾向に大きな差。年収 400 万円未満は割り勘が 3 割強
- **婚外パートナーとの連絡頻度は数日に 1 回が最多で約 3 割。毎日も 2 割強**
 - 「毎日頻繁に」が 14.1%、「毎日数回」が 16.2%。一方で 4 人に 1 人が「月に 1 回未満」
 - 連絡手段は「LINE」が 57.7%と最多。次いで「E メール」(28.3%)、「電話」(18.0%)

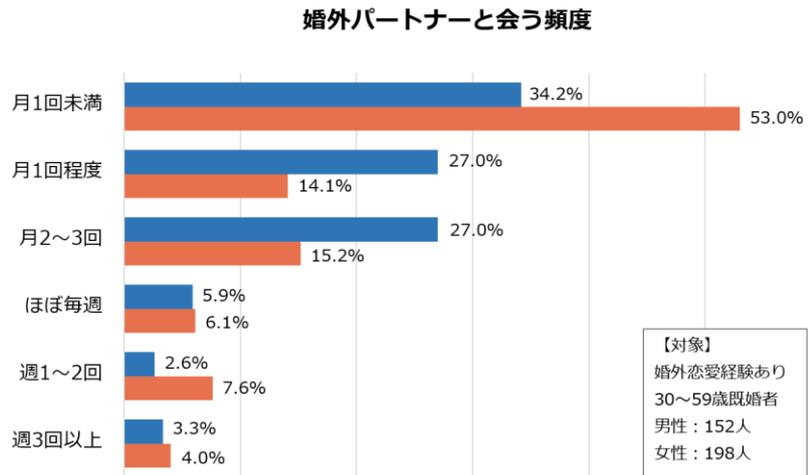
<調査概要>

- ・調査タイトル：婚外恋愛に関する実態調査 第 5 報
- ・調査期間：2023 年 7 月 26 日~28 日
- ・調査対象者：婚外恋愛経験のある 30~59 歳の既婚男女 350 人 (男性 152 人、女性 198 人)
- ・調査方法：インターネット
- ・エリア：全国
- ・調査機関：レゾンデートル株式会社 (<https://raisondetre-inc.co.jp/>)
- ・調査報告の掲載：<https://healmate.jp/survey/>
- ・プレスリリースの掲載：https://prtmes.jp/main/html/searchrhp/company_id/104522

◆婚外パートナーと会う頻度 (デートの頻度)

婚外恋愛の場合、「人目を避ける必要がある」「配偶者に分からないように時間を作る必要がある」「子育てなど

で時間が作れない」などの理由で、相手と頻繁に会いにくい傾向にあると予想されますが、実態はどうでしょうか。結果は次の通りとなりました。

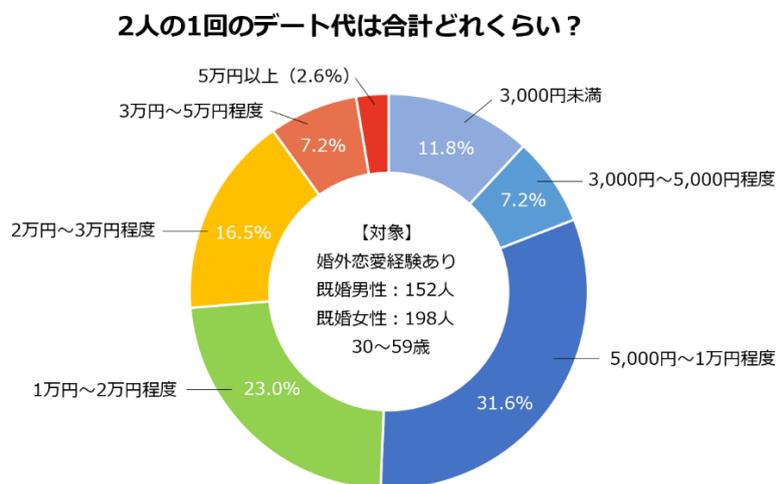


(「婚外恋愛に関する実態調査 [本調査] 対象：婚外恋愛経験ありの男女350人 ©レゾンデール株式会社)

第3報の結果で「婚外恋愛の出会いの場は職場が4割以上」と判明したため、「実際は頻繁に会っている男女も多いのでは」とも予想しましたが、結果は「月1回かそれ以下」が大半を占め、あまり頻繁には会えていない実態が明らかになりました。

◆婚外恋愛のデート費用

婚外恋愛のカップルは、1回のデートにどのくらいの費用を使うのでしょうか。調査対象の30代~50代は、生活費だけでなく子どもや住居費（家のローン・家賃）にたくさんのお金がかかる年代です。

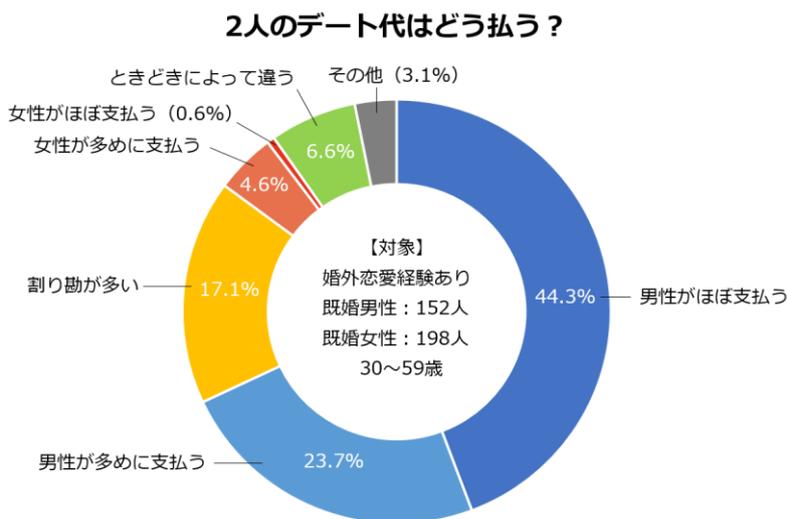


(「婚外恋愛に関する実態調査 [本調査] 対象：婚外恋愛経験ありの男女350人 ©レゾンデール株式会社)

調査の結果、1万円以内が半数以上（50.6%）との結果になりました。2人分の合計金額であることにご注意ください。独身時代よりもかなり費用は抑えられるようです。「自由に使えるお金が少ない」という理由以外にも、あまり時間が確保できないために「短時間デートが中心」「昼間に会うケースも多い」などの理由もあるでしょう。

◆ 婚外恋愛のデート費用の支払い

1回のデートに使う費用はあまり多くない傾向が見られましたが、支払いはどのようにしているのでしょうか。



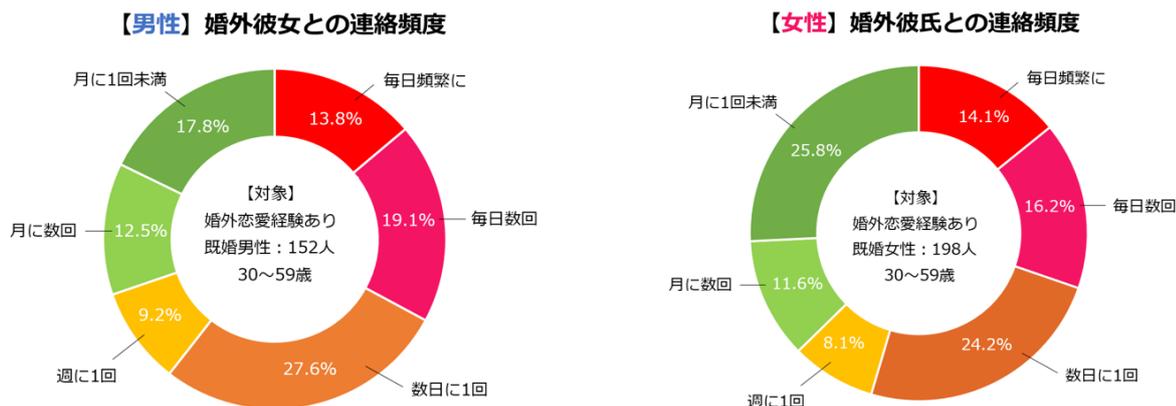
（「婚外恋愛に関する実態調査 [本調査] 対象：婚外恋愛経験ありの男女350人 ©レゾンデール株式会社）

こちらは「男性がほぼ支払う」が44.3%と約半数を占め、「男性が多めに支払う」（23.7%）を加えると、大半のケースで男性が多く負担していることが分かります。「令和の時代は割り勘が基本」などのデート代論争がSNSで繰り返されていますが、割り勘は圧倒的に少なく、やはり男性が支払うケースが多いようです。また、「年下彼氏」「女性上位の関係」も流行していますが、女性が支払うケースは非常に少ないことが分かります。

◆ 婚外パートナーとの連絡頻度・連絡手段

● 婚外パートナーとの連絡頻度

婚外恋愛で困ることの一つに、日常の連絡があるでしょう。配偶者に見つからない・怪しまれないように工夫したり、お互い忙しいなかでどれほど連絡すればよいか悩んだりしがちです。そこで婚外恋愛経験者に「実際の連絡頻度」を尋ねてみました。

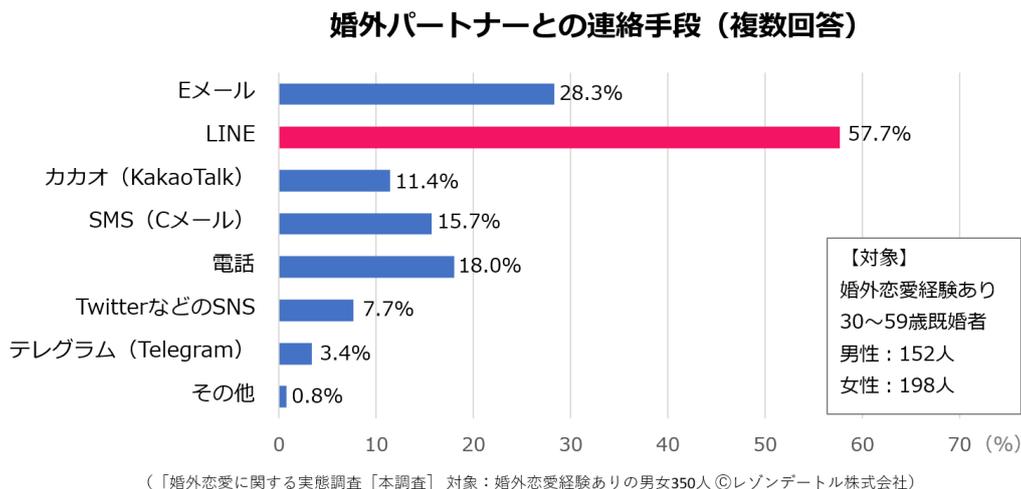


（「婚外恋愛に関する実態調査 [本調査] 対象：婚外恋愛経験ありの男女350人 ©レゾンデール株式会社） （「婚外恋愛に関する実態調査 [本調査] 対象：婚外恋愛経験ありの男女350人 ©レゾンデール株式会社）

婚外恋愛の注意ポイントとして「連絡頻度を少なくする」が上げられることもありますが、実際のところ男女と

も3割以上が毎日連絡を取っているようです。ただし、週1回未満が約4割を占めるなど、連絡を抑制している男女が多い様子が見て取れます。

●婚外パートナーとの連絡手段



連絡手段も悩むところですが、LINEの割合が圧倒的に高く5割を超えています。続いてEメール（28.3%）、電話（18.0%）、SMS/Cメール（15.7%）という順になりました。

©レゾンデートル株式会社 (<https://raisondetre-inc.co.jp/>)

◆今後の調査予定

今回の報告は、婚外恋愛経験者を対象とした【本調査】の結果分析の第3弾です。次回の第4弾では、「性的関係の有無や実態」「配偶者に疑われたことはあるか／バレたことはあるか」などを解明します。

婚外恋愛に関する調査終了後は、セックスレス、ロマンチック・ラブ・イデオロギー、セカンドパートナー、既婚者の異性関係など、「現代の夫婦関係の形」「既婚者の新たな生き方・ライフスタイル」をテーマとした調査を実施していく予定です。今後も私どもの調査について注目していただければ幸いです。

2023年10月2日配信

◎調査内容・本リリースに関するお問い合わせ

今回の調査内容やデータの詳細に関するお問い合わせ、報道関係の皆様への取材依頼やお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

レゾンデートル株式会社 (<https://raisondetre-inc.co.jp/>)
〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-15 レイフラット新宿B棟3F
問い合わせアドレス : info@healmate.jp
担当：浦野